

社協だより

2018.3.22

85号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

地域交流活動を応援します!!

～社会貢献活動してみませんか?～



表紙写真：企業連携事業として、「大和ハウス工業株式会社」さんが町内のふれあいサロンを訪問した際の様子です。
詳しい内容については、P7をご覧ください。

もくじ

- ◆第41回雫石町社会福祉大会 2～3 P
- ◆平成30年社会福祉法人雫石町社会福祉協議会新年交賀会 3 P
- ◆平成29年度歳末助け合い募金運動結果報告 4～5 P
- ◆生活支援コーディネーター ... 5 P
- ◆まちの福祉 6～7 P
- ◆子育ては今は大事 8 P
- ◆西山保育園だよりVOL.22 ... 9 P
- ◆お知らせ 10 P

1月14日(日) 雲石町中央公民館野菊ホールにて、第41回雲石町社会福祉大会を開催し、約250人の参加者が会場に集まり、式典が行われました。式典終了後、「笑う地域に福来たる！笑いは人間関係の潤滑油!!」と題しての記念講演が行われました。

記念講演

「笑う地域に福来たる！笑いは人間関係の潤滑油!!」

● 講師：上野 泰夫氏
(フリーアナウンサー)



【講師紹介】

上野先生は、秋田県民放局を退職後、フリーアナウンサーとして研修会や話し方教室の講師、披露宴・祝賀会等の司会を務め活躍されています。

今回の講演では日常生活やアナウンサーのこぼれ話など日々の暮らしの中での出来事について、笑い盛りだくさんでお話いただきました。

【講演内容から抜粋】

日々の生活の中で笑うということは、身体の免疫も高まり健康長寿に繋がります。どんなことに對しても笑うことができる、年をとっても元

談を言えることは、心身共に健康である証拠です。

また、一人で笑うよりも友人や夫婦、家族と一緒に笑って過ごすことも大切なことです。突然の身体の変化に對応できるように、一緒に過ごすことも必要なことだと思います。

これからの生活を楽しみを持ちながら、たくさん笑って健康に過ごして欲しいです。



上野先生の話に耳を傾ける参加者



第41回 雲石町社会福祉大会

今回の社会福祉大会終盤には、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」に取り組むことを誓う、大会宣言が朗読されました。

本大会終了後に、町のさらなる福祉発展を願い、関係各所の連携を深めることを目的に新年交賀会を開催しました。詳しくは、P3の記事をご覧ください。



～受賞おめでとうございます～ 雲石町社会福祉大会長表彰

● 社会福祉団体・施設役職員永年勤続功労者 4名
雲石町社会福祉協議会理事 藤村 正彦 氏



10年の長きにわたり、雲石町社会福祉協議会理事として地域福祉の増進に努めた功績。



● 雲石町社会福祉協議会理事 上田 武夫 氏

10年の長きにわたり、雲石町社会福祉協議会理事として地域福祉の増進に努めた功績。



● 特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘 伊藤 チエ子 氏

28年の長きにわたり、介護現場の模範となり、職員の育成に尽力した功績。



● 特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘 細川 公子 氏

27年の長きにわたり、介護現場の模範となり、職員の育成に尽力した功績。

社会奉仕団体・ボランティア活動団体

5団体

多年にわたり、地域の高齢者の居場所や交流の場をつくり、地域福祉の増進に努めた功績。



《写真左より》

- ふれあいサロンお茶っこだよ
- ふれあいサロンもくもく
- ふれあいサロン陽だまり
- 戸沢いきいきサロン



● ふれあいサロン 清水沢

多額寄付団体

2団体



● 岩手工業 株式会社
代表取締役 田中 勝男 氏
雲石町福祉基金に50万円の寄付を行った功績。



● 株式会社 田中建設
代表取締役 田中 均 氏
雲石町福祉基金に50万円の寄付を行った功績。

在宅介護功労者(褒賞)

2名

● 滝澤 キヨノ 氏 ● 野中 君子 氏
多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。



初開催

平成30年社会福祉法人 雲石町社会福祉協議会新年交賀会

雲石町社会福祉協議会(以下、「町社協」)では、日頃より町社協の運営や活動にご協力いただいている町内の福祉関係者・地域住民の皆様と共に、新春の慶びと雲石町の住民同士の支え合いを高める活動の充実に向けての抱負を語り合い、関係者の連携を深めることを目的に、1月14日(日)、雲石町中央公民館大会議室にて「平成30年社会福祉法人雲石町社会福祉協議会新年交賀会」を開催しました。

町社協で初開催となった新年交賀会には、町内より117名の方々にご参加いただき、目時会長による年頭の挨拶などのあと、祝宴に移り、出席者



目時会長による年頭の挨拶



西山保育園職員によるハンドベルの演奏



新年交賀会会場の様子。
たくさんの方にご参加いただきました。

の皆さんは終始和やかな雰囲気の中、互いに年始の挨拶を交わし、新年の抱負を語り合っていました。ご出席いただいた方からは、「社協はこんなにたくさんの団体や企業との繋がりがあって、初めて知った。やはり福祉というのは、いろいろな分野との関わりがあるのだな。」などのご感想をいただきました。

今回の新年交賀会では、町社協事業への更なる理解をいただきましたこと、また、ご参加いただいた皆さま方がより一層親睦を深め、繋がりをもち共に町の福祉の発展に尽力していただけると感じました。

平成29年度歳末助け合い大口募金ご寄付の方々（敬称略）

【50,000円】
 青湖苑カルチャー発表会実行委員会
 【30,000円】
 雫石医科歯科会
 社団医療法人康生会常宿温泉病院
 【20,000円】
 株式会社共同地質コンパニオン
 すてきな福祉作業所のチャリティーバザー実行委員会
 在京雫石町友会
 【16,000円】
 雫石町ゲートボール協会
 【11,350円】
 雫石町立西根小学校児童会
 【10,000円】
 谷地商店
 沼田歯科クリニック
 株式会社寿広
 株式会社興和電設
 丹内建設株式会社
 東北体育施設株式会社
 明北産業株式会社
 株式会社丸恵電業
 株式会社グリーン・ベネフィット
 株式会社中孫商店
 株式会社中村建設
 新日本設計株式会社
 中村建材株式会社
 北光コンサル株式会社
 株式会社イクスル
 株式会社ビルド遠藤

岩井建設株式会社
 岩手大崎電気株式会社
 株式会社東北工商
 盛岡セイコー工業株式会社
 社団医療法人三和会介護老人保健施設はーとぽーと雫石
 株式会社ナカノアイシステム
 株式会社振興設備設計
 株式会社昭和土木設計
 北栄調査設計株式会社
 株式会社吉田測量設計
 【9,070円】
 雫石町立御所小学校児童会
 【5,000円】
 雫石町婦人会役員一同
 岩手建工株式会社
 旭管工株式会社
 マルエス工業株式会社
 有限会社佐々木章設計事務所
 株式会社しずくし
 休暇村岩手網張温泉
 小岩井乳業株式会社小岩井工場
 小岩井農牧株式会社小岩井農場
 新岩手農業協同組合雫石支所
 仙建工業株式会社
 松ぼっくり
 有限会社西部建設工業
 一般社団法人雫石町シルバー人材センター
 株式会社NIPPO
 株式会社リードコナン
 株式会社菊池工業

有限会社吉田塗装工業
 株式会社ケーエヌ工業
 株式会社ダイトク
 有限会社丸水工業
 株式会社岩手ナブコ
 株式会社プリンスホテル
 匿名希望 1社
 【3,000円】
 株式会社恵工業
 有限会社アース
 雫石タクシー有限会社
 長栄館
 ホテル森の風鶯宿
 有限会社なかゆ食品
 有限会社瀧沢重機建設
 株式会社アオバヤ ダスキン本宮支店
 株式会社福祉サポート北東北
 株式会社白ゆり
 伊藤建設株式会社
 【2,000円】
 株式会社三伸鋼機
 岩手道路開発株式会社
 株式会社渡辺設計事務所
 株式会社富士電業社
 奥アンツーカ(株)東北営業所
 株式会社武田菱設計
 オリジナル設計株式会社
 株式会社大永
 デイサービスセンターにこトピア雫石

平成29年度歳末助け合い募金運動結果 報告

寄付金実績額 3,638,291円

(内 訳)
 行政区別募金【4,112世帯】 2,113,119円
 大口（企業）募金【77社】 617,000円
 歳末助け合いチャリティーショー益金 887,752円
 学校募金【御所小学校／西根小学校】 20,420円

配 分 額 2,113,000円

(内 訳)
 歳末助け合い激励金配分金 2,113,000円
 ※差引残金 1,525,291円は、平成30年度の岩手県・雫石町の福祉活動資金に活用させていただきます。

平成29年度歳末助け合い募金配分額 (平成30年2月8日現在)

対象者項目	雫石地区	御所地区	西山地区	御明地区	合計	金額	配分額
在宅重度障害(児)者	32人	11人	22人	15人	80人	240,000円	@3,000
認知症老人介護世帯	1世帯	2世帯	3世帯	5世帯	11世帯	33,000円	@3,000
生活困難世帯	66人	55人	43人	47人	211人	1,620,000円	@5,000×人数+5,000×世帯数
34世帯	33世帯	22世帯	24世帯	113世帯			
雫石町身体障害者福祉協会						30,000円	
精神障がい者団体						30,000円	
福祉作業所かし和の郷						30,000円	
歳末助け合い募金運動事務局						130,000円	
計	495,000	369,000	333,000	342,000	1,539,000	2,113,000円	

総額 3,638,291円

町民の皆様の心温まるご協力
 本当にありがとうございました。



皆様よりお寄せいただいた募金は、長期間にわたり、在宅で介護を必要とされる方や生活にお困りの方々等へ、各地区民生委員・児童委員さんを通じて、12月末に激励金としてお贈り致しました。また、今回ご協力いただきました募金は、平成30年度、雫石町の福祉の発展・向上のための福祉活動資金としても活用させていただきます。皆様の心からの善意に、深く感謝申し上げます。



天川のお茶っこ飲みはあったかい雰囲気



西山地区地域づくり会議チーム活動にて大人も子どもも本気になってかるた取り



地域を知る民生委員さんのワークショップ「みんな同じ悩みを抱えている！一人じゃない！」

生活支援コーディネーターは、そうした日々の暮らしの中でさりげなく行われている支え合いを発見し、必要な方へお繋ぎしたり、地域の輪が広がるような「お互いさまのまちづくり」のお手伝いをしています。今年度は、ふれあいサロンや体操の場、お茶っこ飲み、地域づくり会議など、地域の宝物（地域資源）とは、皆さんが普段の生活の中で当たり前のように行っている支え合い活動や趣味のサークル、サロンの集まり、お茶飲み、おすそ分け、花壇づくり、立ち話など、日々の何気ない交流の姿を表現しています。そうした交流が深まると、だんだん気になる人気があがる人が、いざという時に「困った時はお互いさま」と助け合える関係に繋がります。

また、地域の困りごとを吸い上げるひとつの機会として、民生委員児童委員を対象に、普段の困りごとや民生委員の抱える悩みについて話し合い、その解決策を一緒に考えるワークショップを開催しました。今後も地域の集まりなどで宝物や困りごとを話し合い、共有できる場をつくり、安心して暮らし続けられるまちづくりのお手伝いをしていきます。

生活支援コーディネーターが行く!!
 ～地域の宝物探しています～



行政区募金で二千元以上のご寄付を頂いた方々

(敬称略)

行政区	募金額	氏名
雫石地区	100,000円以上	太田 司
御所地区	30,000円以上	廣養寺 平井 正道 永昌寺 藤本 達也
西山地区	20,000円以上	臨濟寺 目時 大堂
御明地区	10,000円以上	篠村医院 篠村 達雅 上原小児科医院 上原充郎 篠村泌尿器科クリニック 篠村五雅 中野 勇 佐々木 繁 光
合計	7,805円	
雫石地区	6,230円以上	星 合 利 見
御所地区	5,300円以上	太 田 正 男
西山地区	5,000円以上	山 本 誠 吉
御明地区	5,000円以上	晴 山 定 雄 高 橋 健 治 土 樋 博 志 佐々木 利 之 (有) 櫻 田 自 工 外 岡 卓 之 伊 藤 秀 輝 細 川 正 四 郎 古 舘 謙 護 HOMEエコノ雫石 諏訪勉 小 田 靖 子
合計	21,335円	
雫石地区	3,000円以上	関 大 和 石 塚 秀 澤 田 豊 西 田 行 細 川 本 高 橋 孝 深 谷 詩 タナカ塗装 田中 勝利
御所地区	3,000円以上	茅 橋 聰 村 上 あさよ 中 島 勝 (有) 三 千 秋 (株) 三 千 浦 孝 三 千 吉 井 主 藤 村 正 勝 松 尾 勝 中 澤 村 藤 村 上 直 高 村 上 洋 田 中 秀 徳 田 一 廣 瀬 幸
西山地区	2,560円以上	原 誠
御明地区	2,500円以上	岩 瀬 伸 哉 柏 木 哲
合計	2,000円以上	櫻 田 章 夫 林 村 隆 孝 内 田 恵 三 沼 田 容 子 長 坂 商 子 米 澤 村 照 中 上 野 玲 石 武 藤 夕 藤 原 勝 三 下 新 里 千 瀬 川 憲 子
合計	2,000円以上	谷 川 幸 男 細 田 貴 史 徳 田 俊 雄 杉 村 正 利 前 根 早 苗 川 口 英 敏 ファッション・クレール 古 川 幸 男 千 葉 幸 茂 千 葉 恭 作 野 村 恭 一 諏 訪 剛 郎 向 井 繁 美 佐 々 木 克 謙 古 武 田 長 郎 藤 沼 田 清 一 沼 田 廉 一 山 口 淳 一 沼 田 光 雄 沼 田 雪 子 横 手 勝 恒 志 藤 原 子 島 上 美 代 子



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

身近な高齢者を良く知るために!!

御所小学校で福祉教育出前講座を実施

2月27日(火)に御所小学校第3学年を対象に、町長寿支援課と共同で「孫世代のための認知症講座」を開催し、当社協では身近にいる高齢者の理解を深めることを目的に「シニア体験」をさせて頂きました。

今回の体験では、「身体」「目」「手先」の3つのコーナーに分かれて、年を経ることによって生じる身体の変化について体験してもらいました。体験をした児童からは「普段できていたことが年をとるにつれて難しくなるんだね。」「お金がこんなに掴みづらくなるなんて信じられない。」「大きく書かれていても遠い見えないうえ、色も見えずらくなるんだ。何かお手伝いできることないかな。」など、年齢による身体能力の低下について体験



手に力が入らなくて、物が掴みづらい~



え~と、なんて書いてあるんだ?



目の体験中、お金の違いが分かりづらいよ~

を通して学び、自分たちにできることとしたお手伝いについても考えてもらいました。

社協で実施している「福祉教育出前講座」では、幼児教育、学校教育における様々な学習時間での福祉プログラムの企画から、講師の紹介等、教育現場の様々な相談に応じ、現場のサポートを行っております。

また、「世代間交流事業」と「出前講座」の二つから構成されており、それぞれの教育現場で必要とされるプログラムを選択することが出来ます。

申請方法も簡単で事業にかかる経費も無料ですので、社会福祉協議会までご相談下さい。

報

雪んこ見守り隊活動終了

地域で育つボランティア

毎年、1月~2月の土曜日午後に見守りが必要とする方や雪かきが難しい方を対象に、「雪んこ見守り隊」と称して、中高生やボランティア、企業等の協力をいただいて、玄関先の除雪をかねた無償の見守り活動を行っています。今年度は8日間で、延べ305名のボランティアの協力をいただき、延べ389世帯の対象世帯を訪問し、活動を終了しました。

活動に参加した中高生は、スノーバスターズ隊員から丁寧な除雪方法を



訪問先の方が歩きやすいように、丁寧に除雪をするボランティア

学び、一生懸命活動を行っていました。

また、訪問先の方からは「除雪を手伝っていただけるとは本当に助かっている。」「子どもたちとたくさんお話できることや元気に活動する姿を見られることは本当に励みになる。」などの嬉しい声をいただきました。



次年度は11月と3月に開催する予定なので、ご利用していただければと思います。

福祉職に就く方が減少している中で、一人でも納得のいく形で就職でき、長く勤めてくれたら、双方にとって良いこととなります。

参加された人からは、「求職中ではないのだけれど、福祉の仕事に興味があつて来ました。」「じっくり話ができるので、とても良い機会だった。」との感想を聞きました。

報

雪んこ見守り隊活動終了

地域で育つボランティア

今年度は平成29年11月5日(日)と平成30年2月18日(日)に開催しました。町内の7事業所が一同に町総合福祉センターへ会し、町内で就職したい方や福祉に興味のある方達に対して、参加事業所の職場説明を実施しました。

この説明会では、求人票を基に、勤務時間や就業日数などを求職者と事業所が互いの要望を確認できたり、初めて福祉職へ就こうとしている人にとっては、事業所の概要や一日の流れなどを事前に知ることができる機

知報

企業の皆さん!事業所の皆さん!地域福祉活動に参加してみませんか?

企業連携事業

雪石町社会福祉協議会(以下、「社協」)では、「雪石町のために社会貢献活動をしてみたい!ボランティア活動をしてみたい!」という企業・事業所の皆さんが持っている力を地域に活かせるようコーディネートしています。

活動事例

『大和ハウス工業株式会社』

大和ハウス工業株式会社では、企業の社会貢献活動の一環として、社員へのボランティア活動を推奨しています。

二年前に雪石町社協へスノーバスターズ事業「雪んこ見守り隊」について問合せしたことをきっかけに、昨



雪んこ見守り隊出動! いざ、待っている人達のもとへ!!



ボランティアフェスティバル「段ボールがあればベッドも作れますよ」



心を込めて調理中頑張ってます!!



栄養バランスのとれたお弁当!!



楽しみに待っている利用者さんの元へお届けします!!

知

真心のこもったお弁当をお届けします!!

在宅居食サービス事業

町社会福祉協議会では、毎週月曜日から金曜日まで(国民の祝日、休日、正月三が日を除く)「在宅居食サービス事業」を行っています。

毎回、栄養バランスのとれた食事を調理し、利用者の方に喜ばれる弁当を届けるとともに、利用者の方の安否確認も行っています。

- 対象となる方は(概ね65歳以上)
 - 一人暮らし高齢者世帯
 - 高齢者のみの世帯
 - 日中一人で在宅生活を過ごしている方(日中独居)
 - 食事の調理が困難な方
 - 特別な病人食を必要としない方
- ※利用料金は1食400円です。

実際に居食サービス事業を利用している方からは、「奥さんが亡くなつてからご飯を作るのも大変だったので、すごく助かっている。配達してく

れる方も元気に声をかけてくれるので嬉しい。お弁当を持ってきたくれるのを楽しみにしている。」「や、「大雪で道路状況も悪くて今日はお弁当お休みかな」と思っていたが、届けてくれた。私の為に来てくれたことが本当に嬉しい。」「などの声をいただきました。また、「日中家族が不在で安否確認として声をかけてもらえると助かる。」という理由で利用を開始されるご家族もいらっしゃいます。

居食サービス事業では継続して利用する前に「お試し弁当」で、どんな内容なのか確認することも出来ます。是非、この機会にご利用して頂きたいと思ひます。

☆問合せ先
役場長寿支援課
電話番号..(692) 1105
町社会福祉協議会
電話番号..(692) 2230

西山保育園では様々な経験を通して、健全な心と体が育まれるよう、外部講師や地域の活動を取り入れています。

今回は、国立岩手青少年交流の家の方をお招きし、ダンボールを使った遊びを教えてくださいました。テーマは「忍者大作戦!」。跳ぶ、這う、積み重ねる、バランス感覚など、全身を使った様々な遊びを取り入れた忍者の修行を行いました。「忍!忍!」のかけ声で気合いを入れ、ダンボールの迷路では次の友だちが来るまで隠れていたり、丸い筒で出来た綱渡りは左右のバランスをとりながら慎重に渡るなど、忍者になりきっていました。

これからも地域の皆様の力をお借りしながら、たくさんの経験を積み重ねる保育を展開していきます。



忍者に大変身
忍!忍!

修行の前に準備体操!



キャタピラーの橋



すれすれアスレチックの橋



～忍者の修行～



箱つみの術



綱渡りの術



壁抜けの術



ぴよんぴよんの術

ご存知ですか?

子育ては今は大事

栗石町社協の子育てサービスをご紹介します♪

① 子供一時預かり事業

栗石町社会福祉協議会（以下、社協）では、親御さんが安心して子育てができることを目的に様々なサービス事業を展開しています。人口減少が喫緊の課題となつてい

- Q. どんな時預けられるの?
A. 家族の急用、急病で面倒を見てくれる人がいない時。子どもが病気などで、幼稚園・保育園等に預けられない時などお預かりします。
- Q. 保育場所は?
A. 町総合福祉センターにある「ちびっ子ルームぽけっと」でお預かりしています。
- Q. 利用時間は?
A. 二十四時間体制でお預かりしています。
- Q. 利用料金は?
A. 有料となります。お預かりする時間により変わります。（一時

② 一人親家庭子育て応援事業

間当たり四百円～五百円）
Q. 誰が見てくれるの?
A. 栗石町子育て支援ボランティアの会員がお預かりします。

Q. 準備していくものはありますか?
A. お子さんの食事、おやつ、飲み物、おむつ、着替え等は、各自でご用意下さい。

- Q. 利用時間は?
A. 午前8時から午後8時までの間が無料化される時間帯となります。
- Q. 利用料金は?
A. 1ヶ月につき48時間まで無料となります。（ただし、48時間を超えた場合は有料となります。）
- Q. 対象となる年齢は?
A. 0歳児から12歳まで（小学校6年生まで）

*①・②の事業は事前に登録申請と利用の際には、予約が必要となります。また、ボランティアの状況により、やむを得ずお断りする場合もあります。予めご了承ください。

④ チャイルドシート貸出事業

Q. いつでも開いてるの?
A. 毎月第2土曜日の10時から正午までとなります。

Q. 子どもだけでもいいの?
A. 託児ではありませんので、必ず保護者の方とお過ごしいただきます。

- Q. 貸出期間は?
A. 借りた日から1年6ヶ月です。
- Q. 利用料金は?
A. 一台三千円です。
- Q. すぐに借りられる?
A. 台数に限りがあります。また、利用の際には手続きが必要となりますので、事前にお問い合わせください。

【問合先：692-2230】



③ ちびっ子ルームぽけっと開放日

雫石町社会福祉協議会指定訪問介護事業所のお知らせ

本会の指定訪問介護事業所は、昭和64年雫石町の家庭奉仕員が社会福祉協議会に事務所を置き、平成12年の介護保険事業が始まるまで二人暮らしの高齢世帯等」を訪問し、生活のお手伝いをさせていただきました。当時は、バイクでの訪問が多く、冬期間は悪路に苦戦しながらの訪問でした。

平成12年介護保険事業がスタートするに当たり、町内に訪問介護事業所がないということもあり、「雫石町家庭奉仕員」がそのまま「訪問介護事業所」として、町内でいち早く事業所を開設し、高齢者等が在宅で安心して暮らすことができるための介護サービスを提供に努めてまいりました。

近年の社会状況の変化も相まって、在宅でヘルパーに依頼し入浴や食事介護、オムツ交換なども少なくなり、通所介護（デイサービス、デイケア、ショートステイ）などの利用に代わるなど諸般の事情により、平成30年3月31日をもって事業所を廃止することとなりました。

長年にわたるご厚情に感謝申し上げますとともに、これまでご尽力いただいた多くのホームヘルパーの皆様から感謝申し上げます。

ヘルパー職員より

●板屋 雪子

私はヘルパーの前身だった家庭奉仕員の頃からお世話になっており、3月31日を迎えると20年6ヶ月勤めさせていただいたこととなります。これだけの年数を続けられたのは、やはりこの仕事が好きだからだと思います。忘れられない利用者さんも多くありますが、良い思い出ではないですが、過ぎてしまえば全てが良い思い出となります。この仕事を通して自分を成長させていただけて感謝の言葉しかありません。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございます。

●小野寺 邦枝

雫石町社会福祉協議会ヘルパーとなつて13年になります。結婚後、雫石町へ移住しましたが、最初は道も地名も分からず、地図を見ながら徒歩や自転車を利用者さんのお宅へ行ったことを懐かしく感じます。慣れない土地で大変でしたが、雫石の方々が優しく受け入れてくれたため、何とか今まで勤められました。利用者さんから教わることも多く、雫石でヘルパーとして勤めることができて本当に良かったと思います。今までありがとうございます。

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成29年10月から平成30年2月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。)

寄付金

○株式会社 田中建設

代表取締役 田中 均 様
500,000円

(雫石町の地域福祉活動のために)

○岩手工業 株式会社

代表取締役 田中 勝男 様
500,000円

(雫石町の地域福祉活動のために)

○中川 愛子 様

70,000円

(雫石町の地域福祉活動のために)

○匿名希望

50,000円

(雫石町の地域福祉活動のために)

○曹洞宗盛岡一九会 様

34,702円

(雫石町の地域福祉活動のために)

○雫石地区防犯交通安全協会 様

2,000円

(町の福祉のために)

社協行事予定

3月

23日(金) 町社会福祉協議会評議員会

28日(水) よろず相談所

4月

18日(水) 総合相談所

5月

30日(水) よろず相談所
生活困窮者相談会

*事情により、変更になることもあります。予めご了承ください。

編集後記

今年度も残り数日となりました。今年の雫石町は近年稀にみる大雪となり、当社協も多くボランティアさんにご協力いただきました。本当にありがとうございました。

また、3月をもって町社会福祉協議会ヘルパー事業所が閉鎖となります。長年勤められたヘルパーの皆様、本当にありがとうございました。事務所内も寂しくなっていますが、町の福祉の為に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い致します。(村)

○雫石町社協だより

●平成30年(2018年)3月22日

第85号

発行／雫石町社会福祉協議会

〒020-0541 岩手県岩手郡雫石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140

e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp

ホームページ: http://www.shisha.or.jp